

# 火成岩標本セット (ver.2.2)

岐阜聖徳学園大学教育学部地学ゼミ



かんらん岩  
Peridotite

オリーブ色のかんらん石の結晶からなる岩石で、暗緑色の輝石を含む。玄武岩質マグマといっしょに地表へ運ばれたマントルの岩石。灰色の部分が玄武岩。アリゾナ州サンカルロス産。



斑れい岩  
Gabbro

黒色で光沢がなく結晶の長軸方向に走るへき開をもつ角閃石を多く含む。無色鉱物は斜長石。斑れい岩にはかんらん石や輝石も含まれるが、識別できない。三重県亀山市の鈴鹿川で採集。



閃緑岩  
Diorite

無色鉱物である斜長石と有色鉱物である角閃石からなる岩石で、石英もわずかに含まれる。福井県大野市の勝原付近に分布する火成岩。大野市勝原付近の九頭竜川の礫。



花こう岩  
Granite

ピンク色のカリ長石、白色の斜長石、灰色で透明な石英、黒色の黒雲母と角閃石でできた岩石。黒雲母は平らな面で割れやすく、光を強く反射する。岡山県岡山市産。石材名は「万成石」。



玄武岩  
Basalt

マグマが冷えるときに発泡してガスが抜けており、空隙率が高い。波の作用で角が取れている。伊豆大島元町近くの礫浜で採集。



安山岩  
Andesite

マグマが冷えて固まるときにマグマに含まれていたガスが発泡したため、空隙率が高い。長野県と群馬県の県境に位置する浅間山の山麓を流れる濁川で採集。



流紋岩 1  
Ryolite

自破碎組織の流紋岩起源の礫。風化しているためやや薄い青みがかった色をしている。岐阜県飛騨市を流れる小鳥川の河原で採集。



流紋岩 2  
Ryolite

やや薄いピンク色で、マグマが冷えるときに流動してできた縞模様が発達している。岐阜県各務原市鶴沼の河原で採集した礫であるが、下呂市の湯が峰起源と考えられる。